

親子聖書日課

NO.1869 2024.7/21-27

名前

[日]心がくじける時、神から遠く離れ、地の果てにいるように感じませんか。しかし、地の果てからでも神を呼んでみて下さい。神は必ずあなたに答えて下さいます。神を遠い存在にしているのは、あなたの信仰です。神は常に共におられます。

[月]沈黙していると、相手の話がよく分かります。反対に、自分が話しまくっていると、相手の気持ちは分かりません。祈る前に、静まって御言葉を聴くことです。すると、生きる力が与えられ、決して動揺しません。口にチャックして、主と交わりましょう。

[火]息子アブサロムから命を狙われたダビデは、荒野で身を隠します。その惨めで辛い境遇の中で、主に心の渇きを求めました。すると、「主の慈しみは命にもまさる恵み」として与えられました。主のもとに心の渇きを求める人は、幸いです。

[水]主を信じて、「毒を含む言葉を矢として」射ることがあります。「賛美と呪い」が同じ口から出るので。その毒を制するのは、主の十字架だけです。その愛と赦しをもって人に接し、又、主のごとく、「父よ、彼らを赦したまえ」と祈りましょう。

[木]私達が信じる神は、「祈りを聞いて下さる神」です。但し、祈りが聞かれるためには、一つだけ条件があります。それは「満願の献げ物をささげる」ことです。自分の大切なものを献げないで、願いだけ叶えてもらうのは、虫がよすぎませんか。



[金]キリスト教は「考える宗教」ではなく、「見える宗教」です。「来て、神の御業を仰げ」これは教会だけではなく、家庭にも言えます。喧嘩の絶えない家庭が、主を信じて賛美の溢れる家庭になったのを見るだけでも、主の御業であることが分かります。

[土]神の祝福を求めるのは、自分の幸せのためではなく、祝福された私達を通して全ての人が主を信じるためです。祝福された人は輝いていますから、魅力的です。「御顔の輝き」こそ、最高の笑顔です。毎週の礼拝は、御顔の輝きを頂く時です。



	聖書	問題	答え
日	詩編 61:1-9	心が挫ける時、どこから神を呼びますか。	
月	62:1-13	私の魂はどうして、ただ神に向いますか。	
火	63:1-12	私の魂はあなたをどうしますか。	
水	64:1-11	自分の舌が何のもとになりますか。	
木	65:1-14	何を聞いてくださる神ですか。	
金	66:1-20	来て、何を仰ぐべきですか。	
土	67:1-8	何をすべての民が知るために、神は私達を祝福して下さいますか。	
感想と祈りの課題			